

【地域の人から学ぼう】郷土史家の下村先生に地域の歴史を教えてくださいました

10月20日（火）、当校が実施している「地域の人から学ぼう」において、郷土史家の下村明雄先生に講師をしていただき、2年生が当校周辺で歴史に関する現地見学を行いました。

最初に日本製紙株式会社様にご協力を賜り、同社の構内にある稲荷神社を見学させていただき、その歴史を学びました。「構内にある稲荷神社は江戸時代にこの地域の農業振興を祈願して、五左衛門松にその名を残す、横田五左衛門が京都から分祀したものであること。その後、この地域は工場誘致により工業地域となり、製糸産業を経て現在のパルプ産業となったこと。日本製紙株式会社様のご支援もあり、社殿は立派に存在し続けていること。」等を教えてくださいました。また、当校付近も伊能忠敬が測量をしていたこと等も教えてくださいました。

その後、日本製紙株式会社様構内へつながっていた鉄道路線跡や旧国道、江津駅前の石畳の歴史等を教えてくださいました。

普段、生活している場所には知らない歴史がたくさんあることを学びました。下村先生とは「江津の街づくりを考える会（代表：今井聖造様：今井産業株式会社顧問）」でご縁をいただき、今回の現地見学となりました。

これからの街づくりは、高校生の世代が担うことになります。過去の歴史をしっかりと考え、街づくりに貢献して欲しいと願います。

フィールドワーク開催にあたり、下村先生、日本製紙株式会社様、西日本旅客鉄道株式会社様には大変にお世話になりました。誠にありがとうございました。



SNSにも掲載します



@GOTSU_TECHNICAL